

湖西市地域公共交通網形成計画

— 概要版 —

平成 29 年 5 月

湖 西 市

1. 湖西市における地域公共交通の課題

調査区分	湖西市の地域公共交通に関する個別課題
人口動態	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 人口減少に伴う移動ニーズの低下や、高齢化に伴う移動ニーズの変化への対応 ▶ 地域特性(まちなか・郊外部)を踏まえた公共交通サービスのあり方を検討
人口流動実態と施設立地状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 隣接市との連携による広域的な移動ニーズへの対応
公共交通の現状	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共交通ネットワークを形成する各種路線の役割の明確化 ▶ 将来都市像(湖西市が目指すまちづくり)を支援する公共交通ネットワークの形成を検討 ▶ 日常生活における移動手段として定着しているコーちゃんバスの維持、活性化 ▶ 利用者減少(運行経費増大)が見られる路線・地域への対応
市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 天竜浜名湖線及び各種バス交通の利用増進 ▶ 公共交通非利用者が利用可能となる条件への対応 ▶ 鉄道駅、医療施設及び商業施設等へのアクセス確保への対応 ▶ 子どもや高齢者の移動手段の確保への対応 ▶ 公共交通の費用負担のあり方と地域の公共交通の確保・維持に向けた住民参加のあり方を検討
乗降調査	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 通勤・通学手段及び市内外医療施設への通院手段として利用される路線バス及び自主運行バスの機能確保と利便性向上 ▶ 市民の日常的な移動手段としての機能確保と利便性向上 ▶ 路線(地域)により異なる移動ニーズへの対応
バス利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バス利用者の満足割合が高いサービス項目(乗り継ぎや車内での情報・案内の提供等)の維持 ▶ バス利用者の不満割合が高いサービス項目(運行本数、時間帯、曜日等)の改善
病院利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新規バス利用者の発掘に資するバスサービス(バス停の近接性、運行本数の確保等)の改善
グループインタビュー	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 運行本数の増加や土日運行といった市内全地域の共通意見への対応 ▶ 路線(地域)により異なる地域特性や移動ニーズに応じ、新たなデマンド型交通も含めた公共交通サービスの提供
交通事業者ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 行政と交通事業者の更なる連携による安全な運行を前提とした持続可能な公共交通サービスの提供

	湖西市が目指すまちづくりに向けた地域公共交通に関する個別課題
上位・関連計画	<ul style="list-style-type: none"> ▶ まちづくり等各分野の計画・事業及び関係者が連携した公共交通ネットワークのあり方を検討 ▶ 集約・連携型の都市構造を支える公共交通ネットワーク形成のあり方を検討
地域公共交通総合連携計画	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 湖西市地域公共交通総合連携計画で定めた事業実施における残された課題への対応

湖西市の地域公共交通に関する主な課題

①市内及び隣接市を含む広域的な移動ニーズに対応した公共交通ネットワークを形成する必要があります。

②路線・地域特性に応じた誰もが分かりやすく、利用しやすい公共交通サービスを提供する必要があります。

③集約連携型都市構造を実現する戦略的な公共交通施策を展開する必要があります。

④市民、事業者、自治会、市民活動団体及び行政の各主体が連携し、皆で公共交通を支える仕組みを検討する必要があります。

2. 持続可能な地域公共交通の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針

地域公共交通の基本方針

「誰もが、安全・安心・快適に移動できる
交通環境が充実した暮らしやすいまち」の実現に向けて

基本方針 1 鉄道、路線バス、コーちゃんバス及びタクシーが一体となり、日常生活の移動を支える地域公共交通ネットワークを形成します。

基本方針 2 公共交通の充実により各拠点のにぎわいと交流の創出を支援します。

基本方針 3 市民や利用者に分かりやすく、利用しやすい公共交通サービスを提供します。

基本方針 4 多様な主体の連携・協働による取り組みを推進するとともに、地域公共交通を育む仕組みを構築します。

図 湖西市における地域公共交通のネットワークイメージ

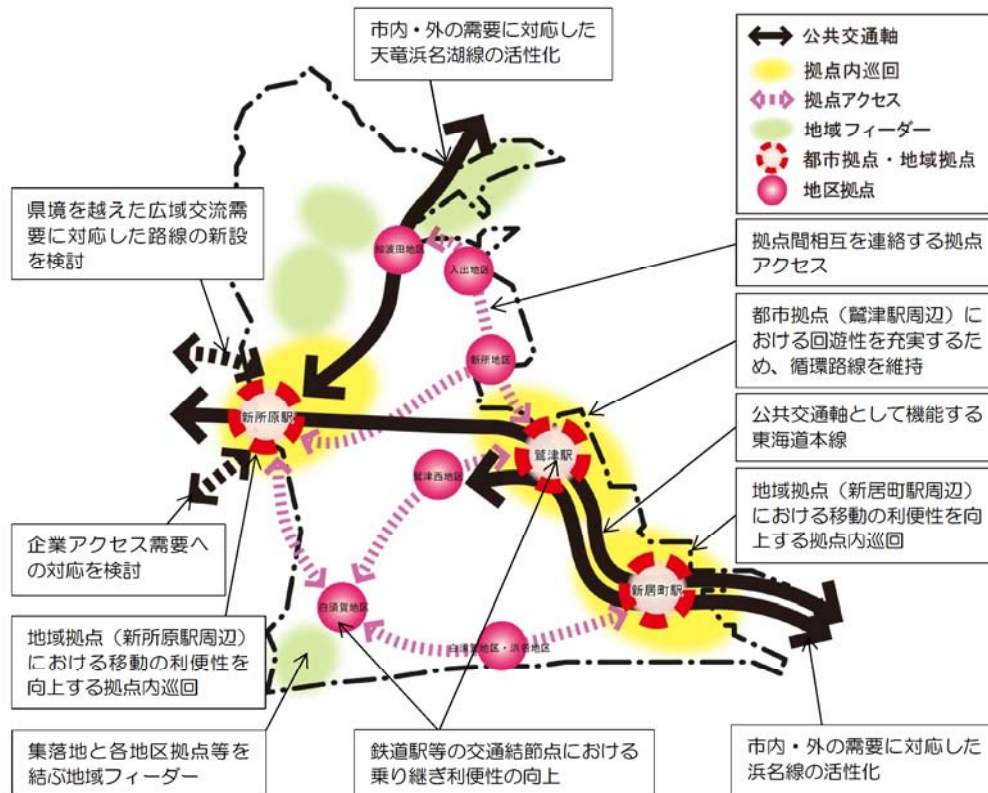


表 公共交通の機能分類

機能分類	路線機能
公共交通軸	本市及び浜松市や豊橋市等の周辺市町を結び、通勤、通学、買物、観光等の広域的な移動ニーズに対応します。
拠点内巡回	都市拠点及び地域拠点周辺において、拠点駅とその周辺の主要施設を經由し、買物、通院、観光等の様々な移動ニーズに対応します。
拠点アクセス	各地区拠点と拠点駅を結び、通勤、通学、買物、通院等の地区間の移動ニーズに対応します。
地域フィーダー	公共交通軸、拠点内巡回、拠点アクセスがサービスできない地域において、地域住民が選択した移動手段により、地域内の集落と地区拠点や拠点駅等を結ぶ移動ニーズに対応します。

3. 計画の区域と計画期間

(1) 湖西市地域公共交通網形成計画の区域

本計画の計画区域は、市内公共交通全体を取り扱うことから、湖西市全域とします。
 なお、周辺市との連携にあたっては、個別に協議調整を図るものとします。

(2) 湖西市地域公共交通網形成計画の計画期間

本計画は、平成29年度～33年度までを計画期間とします。

本市がめざす将来都市像を見据え、これを支える公共交通計画を策定するため、上位・関連計画である新・湖西市総合計画及び都市計画マスタープランの計画期間との整合を図り、上位・関連計画が更新される翌年度に本計画を見直すものとします。

4. 計画の目標

目標	評価指標	評価基準														
目標 1 公共交通相互が連携を図る、地域公共交通ネットワークの形成を目指します。	評価指標 1-1 公共交通利用者数の増加	公共交通利用者数（乗車人数）（事業者提供データ） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況値 [H27]</th> <th>評価基準 [H33]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共交通利用者数</td> <td>3,772 千人</td> <td>3,772 千人以上</td> </tr> </tbody> </table>		現況値 [H27]	評価基準 [H33]	公共交通利用者数	3,772 千人	3,772 千人以上								
		現況値 [H27]	評価基準 [H33]													
公共交通利用者数	3,772 千人	3,772 千人以上														
評価指標 1-2 公共交通の利用頻度の増加 （月に数回以上の利用をする人の割合の増加）	月に数回以上の利用をする人の割合（市民アンケート） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況値 [H28]</th> <th>評価基準 [H33]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東海道本線</td> <td>24.8%</td> <td>24.9%以上</td> </tr> <tr> <td>天竜浜名湖線</td> <td>1.3%</td> <td>1.4%以上</td> </tr> <tr> <td>浜名線</td> <td>1.4%</td> <td>1.4%以上</td> </tr> <tr> <td>コーちゃんバス</td> <td>3.0%</td> <td>3.3%以上</td> </tr> </tbody> </table>		現況値 [H28]	評価基準 [H33]	東海道本線	24.8%	24.9%以上	天竜浜名湖線	1.3%	1.4%以上	浜名線	1.4%	1.4%以上	コーちゃんバス	3.0%	3.3%以上
	現況値 [H28]	評価基準 [H33]														
東海道本線	24.8%	24.9%以上														
天竜浜名湖線	1.3%	1.4%以上														
浜名線	1.4%	1.4%以上														
コーちゃんバス	3.0%	3.3%以上														
目標 2 拠点駅（鷺津駅、新所原駅、新居町駅）へのアクセス利便性の向上によりにぎわいと交流を創出します。	評価指標 2 拠点駅（鷺津駅、新所原駅、新居町駅）における各公共交通機関の利用者数の増加	拠点駅の駅・バス停乗車人数（事業者提供データ） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況値 [H27]</th> <th>評価基準 [H33]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鷺津駅</td> <td>1,295 千人</td> <td>1,295 千人以上</td> </tr> <tr> <td>新所原駅</td> <td>1,516 千人</td> <td>1,516 千人以上</td> </tr> <tr> <td>新居町駅</td> <td>829 千人</td> <td>829 千人以上</td> </tr> </tbody> </table>		現況値 [H27]	評価基準 [H33]	鷺津駅	1,295 千人	1,295 千人以上	新所原駅	1,516 千人	1,516 千人以上	新居町駅	829 千人	829 千人以上		
		現況値 [H27]	評価基準 [H33]													
鷺津駅	1,295 千人	1,295 千人以上														
新所原駅	1,516 千人	1,516 千人以上														
新居町駅	829 千人	829 千人以上														
目標 3 公共交通に対する満足度を高めます。	評価指標 3-1 公共交通に対する不満割合の減少	公共交通に対する不満割合（市民アンケート） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況値 [H28]</th> <th>評価基準 [H33]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共交通に対する不満割合</td> <td>64.0%</td> <td>64.0%未満</td> </tr> </tbody> </table>		現況値 [H28]	評価基準 [H33]	公共交通に対する不満割合	64.0%	64.0%未満								
		現況値 [H28]	評価基準 [H33]													
公共交通に対する不満割合	64.0%	64.0%未満														
評価指標 3-2 乗り継ぎに関する不満割合の減少	乗り継ぎに関する不満割合（バス利用者アンケート） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況値 [H28]</th> <th>評価基準 [H33]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗り継ぎに関する情報や案内</td> <td>30.9%</td> <td>30.9%未満</td> </tr> </tbody> </table>		現況値 [H28]	評価基準 [H33]	乗り継ぎに関する情報や案内	30.9%	30.9%未満									
	現況値 [H28]	評価基準 [H33]														
乗り継ぎに関する情報や案内	30.9%	30.9%未満														
目標 4 多様な主体が連携して各種取り組みを実施します。	評価指標 4 市民等が主体的に取り組む事業の件数	市民等が主体的に取り組む事業の件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現況値 [H28]</th> <th>評価基準 [H33]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民等が主体的に取り組む事業の件数</td> <td>0 件</td> <td>4 件以上</td> </tr> </tbody> </table>		現況値 [H28]	評価基準 [H33]	市民等が主体的に取り組む事業の件数	0 件	4 件以上								
		現況値 [H28]	評価基準 [H33]													
市民等が主体的に取り組む事業の件数	0 件	4 件以上														

5. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体

1) 地域公共交通ネットワークの形成

本市が目指す交通将来像の実現に向け、各基本方針を踏まえた地域公共交通ネットワークを形成します。ここでは各公共交通の機能分類別のサービス確保の考え方を以下に示します。

表 公共交通の機能分類別のサービス確保の考え方

機能分類	サービス確保の考え方	実施主体	該当する路線
公共交通軸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行のサービス水準を維持します。 ・ 市内と隣接市をはじめとした周辺市を結ぶ広域な移動ニーズに対応します。 	交通事業者	東海道本線
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行のサービス水準を維持します。 ・ 市内と浜松市を結ぶ移動ニーズに対応します。 	交通事業者	天竜浜名湖線
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行のサービス水準を維持します。 ・ 市内と浜松市を結ぶ移動ニーズに対応します。 ・ 拠点駅において、公共交通軸や拠点巡回との乗継利便性の確保に留意した時刻を検討します。 	交通事業者	浜名線
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県境を越えるバス路線を検討します。 ・ 市内と豊橋市を結ぶ移動ニーズへの対応を検討します。 ・ 新所原駅周辺地区のニーズに留意するとともに、公共交通軸との乗継利便性の確保に留意した時刻を検討します。 ・ 利用者にとって、わかりやすく利用しやすい運賃体系を検討します。 	行政 交通事業者	県境を越える新設路線
拠点内巡回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市拠点（鷺津駅周辺）は、拠点駅とその周辺の主要施設を循環する路線を維持します。 ・ 地域拠点（新所原駅及び新居町駅周辺）は、拠点駅とその周辺の主要施設を経由する路線とします。 ・ 概ね1時間に1本の運行頻度を確保します。 ・ 拠点駅において、公共交通軸、都市間幹線、拠点アクセス交通との乗継利便性の確保に留意した時刻を設定します。 ・ 運行時間帯は、拠点駅及びその周辺の主要施設の利用時間帯や行き帰りの利便性を踏まえ設定します。 ・ 利用者にとって、わかりやすく利用しやすい運賃体系を検討します。 	行政	コーちゃんバス
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の移動ニーズに柔軟に対応するとともに、公共交通としての役割を担います。 	交通事業者	タクシー
拠点アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区拠点と拠点駅を直接結ぶ路線とします。 ・ 概ね1～2時間に1本の運行頻度を確保します。 ・ 都市間幹線や地域アクセス交通との競合を回避したルート及びダイヤを設定します。 ・ 都市間幹線、拠点巡回、地域アクセス交通との乗継利便性の確保に留意した時刻を設定します。 ・ 利用者にとって、わかりやすく利用しやすい運賃体系を検討します。 	行政	コーちゃんバス 自主運行バス浜名線
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の移動ニーズに柔軟に対応するとともに、公共交通としての役割を担います。 	交通事業者	タクシー
地域フィーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行形式は定時定路線またはデマンド型交通とし、地域住民と行政が連携しながら、導入を検討します。 ・ サービス内容は地域のニーズや実状を踏まえ、地域住民が主体的に設定します。 ・ 公共交通軸や拠点アクセスとの競合を回避したエリア、ルート、ダイヤを設定します。 ・ 拠点内巡回や拠点アクセスとの乗継利便性の確保に留意した時刻を設定します。 ・ 利用者にとって、わかりやすく利用しやすい運賃体系を検討します。 	地域住民 行政	導入検討路線
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の移動ニーズに柔軟に対応するとともに、公共交通としての役割を担います。 	交通事業者	タクシー

2) 公共交通の利用促進策

本市が目指す交通将来像の実現に向け、各基本方針を踏まえた公共交通の利用促進策を実施します。
ここでは、(1)～(3)の事業において実施する施策の例を示すとともに、湖西市や他都市の施策事例を整理します。

(1) 公共交通に関するわかりやすい情報を提供する事業

実施する施策の例
①公共交通利用に係る積極的な情報提供
・バス停（コーちゃんバス）の案内表示の多言語化の実施
・公共交通マップの企画・作成・見直し
・バス利用促進啓発ポスターの企画・作成・見直し
②分かりやすい運行情報・乗継情報の提供
・公共交通マップへのわかりやすい乗継情報の掲載
・拠点駅におけるバス乗り場の案内表示の設置
・車内での音声アナウンスの導入
・主要施設や主要バス停でのバスロケーションシステムの検討

(2) 公共交通の利用を誘導する事業

実施する施策の例
①公共交通の割引運賃の導入
・バスの1日乗り放題券等の企画乗車券の導入
・天竜浜名湖線の小学校入学祝記念乗車券、敬老記念乗車券の発行
②モビリティ・マネジメントの実施
・小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催
・公共交通利用促進のための動機付け資料の作成
・特定地域におけるモビリティ・マネジメントの実施
③免許返納者の優遇
・免許返納者への優遇措置の導入
④観光振興のための公共交通利用促進策の実施
・観光モデルルートの設定や市内バスツアーの実施

(3) バスへの愛着（マイバス意識）を高める事業

実施する施策の例
①関係機関と連携した取り組み
・市内商業施設と連携したバス到着アナウンスの実施
・バス停オーナー制度の継続実施
②地域や企業、学校と連携した取り組み
・各地域別の時刻表やモデルプランの作成
・バス停周辺における環境整備、清掃、緑化等
・夏休み小学生50円バスの継続実施
・中学校卒業予定者を対象とした利用啓発活動の実施
・企業が運行するバスとの連携する仕組みの検討
③交通事業者と連携した取り組み
・バスの日イベントでの啓発活動の実施
・高校生を対象とした利用啓発活動の継続実施
④コーちゃんバスを上手に利用する会の取り組み
・コーちゃんバスイメージアップの推進
・企画乗車券の企画
・観光モデルルートや市内バスツアーの企画
・バス車内でのあいさつ運動の実施

3) 地域公共交通を育む仕組みの構築に向けた取り組み

本市が目指す交通将来像の実現に向け、地域公共交通を育む仕組みを構築するために多様な主体が連携・協働する取り組みを実施します。

取り組みの実施にあたっては、市民代表、交通事業者及び行政等で構成する「湖西市地域公共交通会議」及び「湖西市バス運行評価改善委員会」を継続的に開催するとともに、市民自らが主体性を持って活動する「コーちゃんバスを上手に利用する会」を立ち上げます。

また、地域フィーダーの導入及び運行にあたっては、対象地域の地域住民と行政が連携しながら地域フィーダーの導入に向けた検討やその運行を実施します。

表 多様な主体が連携・協働する取り組み

	役割及び主な取り組み内容	関係主体
湖西市 地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> 各主体の代表者より構成する。 公共交通全体の計画・事業の推進、計画の進捗管理、実施状況の点検・評価等を実施する。 	市民代表 関係団体（自治会や老人会等） 交通事業者（鉄道、バス、タクシー） 行政（国、県、市、等）
湖西市 バス運行評価 改善委員会	<ul style="list-style-type: none"> 市内の公共交通（天竜浜名湖線、浜名線、自主運行バス浜名線、コーちゃんバス）について、利用状況を評価し、その改善策を行政へ提言する。 公共交通の利用促進策について、実施状況及びその効果を評価し、その改善策を行政へ提言する。 	市民代表 関係団体（自治会や老人会等） 交通事業者（鉄道、バス、タクシー） 行政（市）
コーちゃんバス を上手に利用する会	<ul style="list-style-type: none"> コーちゃんバスイメージアップを推進し、コーちゃんバスのイメージアップに向けた各種施策を企画・実施する。 コーちゃんバスの利用促進に向けた周知・PRを企画・実施する。 	地域住民 関係団体（自治会や老人会等） 行政（市）
地域フィーダーの導入 に向けた地域の取 り組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域フィーダーの導入に向けた検討及び準備を行う。 運行主体として地域フィーダーの運行を行うとともに、その評価・改善を行う。 地域フィーダーの利用促進に向けた周知・PRを企画・実施する。 	地域住民 行政（市）

4) 目標を達成するために行う事業の実施スケジュールと実施主体

「1) 地域公共交通ネットワークの形成」において定めた地域公共交通ネットワークの形成に向けた考え方、「2) 公共交通の利用促進策」において示した施策の例、「3) 地域公共交通を育む仕組み」において定めた多様な主体が連携・協働する取り組みを踏まえ、本計画において実施する事業を整理します。また、事業内容、実施スケジュール、実施主体を示します。

なお、事業単位での評価・検証を踏まえ、新たに実施する事業については、湖西市地域公共交通会議での協議・調整を踏まえ、実施していきます。

表 目標を達成するために行う事業(地域公共交通ネットワークの形成)

事業名	事業内容	実施スケジュール										実施主体	基本方針							
		←-----> 検討・準備					-----> 実施						1	2	3	4				
		H29		H30		H31		H32		H33										
上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期											
公共交通軸	①東海道本線																			
	・現行サービス水準での運行【継続】	←----->										交通事業者	○	○						
	②天竜浜名湖線																			
	・現行サービス水準での運行【継続】	←----->										交通事業者	○	○						
	③浜名線																			
	・現行サービス水準での運行【継続】	←----->										交通事業者	○	○						
	④県境を越える新設路線																			
	・新設路線の検討	←----->										交通事業者 行政	○	○						
拠点内巡回・ 拠点アクセス	①コーちゃんバス																			
	・現行サービス水準での運行【継続】	←----->											○	○						
	・路線の再編	←----->										交通事業者 行政	○	○						
	・運賃体系の見直し	←----->											○	○						
	②自主運行バス浜名線																			
	・現行サービス水準での運行【継続】	←----->											○	○						
	・路線の再編	←----->										交通事業者 行政	○	○						
	・運賃体系の見直し	←----->											○	○						
地域 リーダー	①導入検討路線																			
	・導入に向けた検討	←----->										地域住民 行政	○	○						
	・実証実験	←----->										地域住民 交通事業者 行政	○	○						
	・本格運行(地域との合意を得る)	←----->											○	○						
タクシー	①タクシー																			
	・公共交通としての機能・役割に応じた適正なサービスの提供【継続】	←----->										交通事業者	○	○						
乗継環境 の整備	①乗継拠点や主要なバス停の乗継環境整備																			
	・拠点駅や地区拠点での乗継利便性の向上	←----->										交通事業者 行政	○							

※検討・準備を行う事業については、実施に向けた検討及び準備が整った段階で、実施へと移行します。

表 目標を達成するために行う事業(公共交通の利用促進策)

事業名	事業内容	実施スケジュール										実施主体	基本方針								
		H29		H30		H31		H32		H33			1	2	3	4					
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期										
公共交通に関するわかりやすい情報を提供する事業	①公共交通利用に係る積極的な情報提供																				
	・バス停(コーちゃんバス)の案内表示の多言語化の実施	←	→																	○	
	・公共交通マップの企画・作成・見直し	←	→																	○	
	・バス利用促進啓発ポスターの企画・作成・見直し	←	→																	○	
	②分りやすい運行情報・乗継情報の提供																				
	・公共交通マップへのわかりやすい乗継情報の掲載等	←	→																	○	
	・拠点駅におけるバス乗り場の案内表示の設置	←	→																	○	
・主要施設や主要バス停でのバスロケーションシステムの検討	←	→																	○		
公共交通の利用を誘導する事業	①公共交通の割引運賃の導入																				
	・バスの1日乗り放題券等の企画乗車券の導入	←	→																	○	
	・天竜浜名湖線の小学校入学祝記念乗車券、敬老記念乗車券の発行【継続】	←	→																	○	
	②モビリティ・マネジメントの実施																				
	・小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催【継続】	←	→																	○	
	・公共交通利用促進のための動機付け資料の作成	←	→																	○	
	・特定地域におけるモビリティ・マネジメントの実施	←	→																	○	
③免許返納者の優遇																					
・免許返納者への優遇措置の導入	←	→																		○	
④観光振興のための公共交通利用促進策の実施																					
・観光モデルルートの設定や市内バスツアーの実施	←	→																		○	
バスへの愛着(マイバス意識)を高める事業	①関係機関と連携した取り組み																				
	・市内商業施設と連携したバス到着アナウンスの実施	←	→																	○	
	・バス停オーナー制度の継続実施【継続】	←	→																	○	
	②地域や企業、学校と連携した取り組み																				
	・バス停周辺における環境整備、清掃、緑化等	←	→																		○
	・夏休み小学生50円バスの継続実施【継続】	←	→																		○
	・中学校卒業生予定者を対象とした利用啓発活動の継続実施等	←	→																		○
③交通事業者と連携した取り組み																					
・バスの日イベントでの啓発活動の実施等	←	→																		○	
④コーちゃんバスを上手に利用する会の取り組み																					
・コーちゃんバスイメージアップの推進	←	→																		○	
・企画乗車券の企画等	←	→																		○	

※検討・準備を行う事業については、実施に向けた検討及び準備が整った段階で、実施へと移行します。

表 目標を達成するために行う事業(地域公共交通を育む仕組みの構築に向けた取り組み)

事業名	事業内容	実施スケジュール										実施主体	基本方針							
		H29		H30		H31		H32		H33			1	2	3	4				
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期									
多様な主体による取り組み	・湖西市地域公共交通会議の継続的開催【継続】	←	→																	○
	・湖西市バス運行評価改善委員会の継続的開催【継続】	←	→																	○
	・コーちゃんバスを上手に利用する会の立上げ・継続的開催	←	→																	○

6. 計画の達成状況の評価に関する事項

本計画で定める各種施策を計画的及び効果的に実施するため、湖西市地域公共交通会議がPDCAサイクルを実施します。PDCAサイクルの実施にあたっては、以下に示す「本計画における評価・検証の基本的考え方」に基づくものとします。

【本計画における評価・検証の基本的考え方】

計画策定年度から毎年実施する事業単位での評価・検証と目標年次におけるネットワーク全体での評価・検証を実施します。

事業単位での評価・検証は、実施状況及びその効果を検証するため、評価指標及び評価基準に基づき、湖西市バス運行評価改善委員会と協力して計画策定年度から毎年実施します。評価基準が達成できていない場合は、事業毎にその要因を分析し、改善点を検討・実施します。

ネットワーク全体での評価・検証は、本計画の達成状況を検証するため、評価指標及び評価基準に基づき目標年次に実施します。評価基準が達成できていない場合は、事業毎にその要因を分析し、改善点を検討・実施します。

本計画の見直しにあたっては、目標年次に実施するネットワーク全体での評価・検証及び改善点の検討の結果を踏まえるものとします。

図 本計画におけるPDCAサイクルの実施イメージ

